学校番号	3022

令和２年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育（ダンス）	単位数	1	年次	2

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

健やかな身体を育成し、体力の向上を図ることはもちろん、共同や協力といった社会的な態度および他者を思いやることができる精神を養い、心身の調和的発達を促すとともに、健康で安全な生活を営む態度を養うように努める。

2　学習の到達目標

心と体を一体としてとらえ、感じを込めて踊ったり、仲間と自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、それぞれ特有の表現や踊りを高めて交流や発表ができるようにする。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

<table>
<tr><th>観点</th><th>a:関心・意欲・態度</th><th>b:思考・判断</th><th>c:運動の技能</th><th>d:知識・理解</th></tr>
<tr><td rowspan="3">観点の趣旨</td><td rowspan="2">運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで計画的に運動しようとする。
公正、協力、責任などの態度が身についている。</td><td>自己やグループの能力と特性に応じた課題の解決を目指して、活動の仕方を考え工夫している。</td><td rowspan="3">自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の技能を高めている。
自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行い方を身につけている。</td><td>社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高め方に関する基礎的な事項を理解し、身につけている。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">安全を確保し、自他の健康に留意しながら、学習に主体的に取り組もうとする。</td><td rowspan="2">自他の動きを分析し、個々の状況・課題に応じた「体力・技術」の向上につなげるよう工夫できる。</td><td rowspan="2">運動のルールや種目特性、技術の名称とその手法、体力の高め方について具体的に理解している。</td></tr>
<tr><td>種目特性に応じた、記録や「体力・技術」の向上をめざす。</td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td>受講態度の観察
グループ活動記録の確認
等</td><td>受講態度の観察
グループ活動記録の確認
等</td><td>受講態度の観察
技能観察
ゲーム
発表
等</td><td>受講態度の観察
質疑応答
等</td></tr>
<tr><td colspan="5">上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</td></tr>
</table>

（補足）

技術や記録だけでなく、出席状況や授業参加態度、意欲等も重視する。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	ダンス	体ほぐし 基本運動 エアロビクス 基本運動の連続 ヒップホップ	○	○	○	○	a:ストレッチや 2 人組の体ほぐし運動で体を動かす楽しさや心地よさを味わい、自分の体や心の状態に気づく。 b:個々の状況・課題に応じた取組みについて、相互にアドバイスをしている。 c:基本運動を連続しておこない、美しく動ける体づくりと、動きのスムーズな変化を身につける。 d:リズムにあわせて楽しく踊る。	受講態度の観察 技能観察
2学期	ダンス	フォークダンス 創作ダンス	○	○	○	○	a:文化的背景や踊り方の特徴を強調して音楽に合わせて多用なステップや動きと組み方で仲間と対応して踊る。 b:個々の状況・課題に応じた取組みについて、相互にアドバイスをしている。 c:基本運動を連続しておこない、美しく動ける体づくりと、動きのスムーズな変化を身につける。いメージをふくらませ、即興的に表現する。 d:表したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、個や群で、対極の動きや空間の使い方で変化をつけて表現したり、作品にまとめたりする。	受講態度の観察 技能観察 発表 鑑賞 グループ活動記録の確認

3学期	球技（ネット型）	バドミントン ・ストローク・サーブ （オーバー、サイド、アンダー） ・ゲーム	○	○	○	○	a：用具準備・片付けを積極的に行う。 b：個々の状況・課題に応じた取組みについて、相互にアドバイスをしている。 c：個人技能を段階的に習得している。 d：技術（技の名称や行い方）、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講態度の観察 技能観察 レポート

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断
　　c：運動の技能　　d：知識・理解

（補足）
体力向上のため、年間を通して、サーキットトレーニングやランニングを取り入れる。

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。